

岡山の鶏卵出荷の問題点（2） 対談

6月号でこれについて全販連大阪支所での対談を紹介したが、同時に岡山鶏卵の大きな荷受業者である大阪中央市場内の大阪鶏卵株式会社で聞いた岡山鶏卵出荷についての意見を、続編として参考に供した。

対談者 大阪鶏卵販売株式会社専務
村上 蔵
岡山県大阪経済事務所技師
神野 一雄

神野 「4、5年前に比べますと、皆様のお話を色々伺ってみますと非常によくなったと、云われておるんですが、今後岡山の卵の品質を改善してますます商品価値のよいものを出して行くと言う上からですね、どう言うことにもう一つ心がけて努力して行かねばならんかと云う点についてお伺いしたいんですが、」

村上 「そうですね、その点は複雑な色んな点もあると思うんですが、まあ何と云っても生産者自身が、よく理解をしながら、新しい卵を消費地の食卓に運ぶ、そして消費者に喜んでもらうと言う気持を持って、取あえず値段を例えばキロ当たり1円高く売りたいと、そう言う気持をちょっとでも新しい、そして美しい卵を集卵或は集出荷の団体に提供して、自分の団体名のマークの市場性を高めるように協力していただくような気持と、今一つは自分達の生産した卵は、本当にお世話になって、売ってもらっているんだというような気持を持ってもらえたら、これはどれだけ本当に品質向上に役立つだろうと、私は常にそう言うことを考えるわけなんです。」

神野 「まあ常に商品だという意識に徹して、いいものを出して行くという風に心掛けねばいかんということでございますね。」

村上 「そういうことですね。具体的に申しますとね、まあ例えば撰別であるとかですね、汚卵の処理だとか、こうした点が色々あると思うんです。他に外装の良し悪しだとか、そう云うこともあるわけなんです、特に撰別、汚卵の処理というようなこと、それから重量の過不足というようなことを現在岡山の卵については伺えるわけなんです。」

全国的にいけば岡山の人は非常に理解ができてきた品質が追々と良くなったということは、これは事実に見えております。

特に量目の点、品質の点、ここの処が特に消費地でやかましく云われる訳なんです、撰別の点なんかの場合は、比較的共同処理と申しますか、3カ所より1カ所、また5カ所より3カ所、これはもう処理場自体が縮まれば縮まるほど撰別も徹底するわけなんです。これもまあ荷造りの費用とか、或は色んな輸送関係によってのコストの問題で選別の徹底したところもあり、また未だに撰別の今一つ不徹底なところもあると、というようなことになるんですけれども。まあ撰別も大事な問題ですが、何と云っても卵は鮮度、一番に新しい卵、そしてまあ、手入れのよく行きとどいた美しい卵、これを出してもらうということが出荷責任者も非常に楽であり、そして市場性のある立派な卵として消費地では非常に歓迎されるというような結論になるんじゃないかと思えるんです。」

神野 「そうしますと、現状で岡山の卵というものは、大阪地元とそれから各県から入ってきているもの、こういうものと比較してですね、どの程度のものでしょうか、鮮度においては勿論地

岡山畜産便り 1960.07

元大阪の地卵には及ばないと思いますが、その他の点でいろいろ総合してですね、岡山の卵の品質において占める地位と申しますか、そうしたものはどの辺のものでございましょうか。」

村上 「これも難しい話ですが、先進地愛知県の場合だったら、大きい農協団体組織で出荷されているところもありますけれども、そういったところは比較的まあいいものを出荷するわけなんですけれど・・・

例えば100点満点とすると、これはもう100点満点に及ぶところはそうざらにあるものではないですけれども、まあ少なくとも90点以上は満点だというような見方から挙げれば、岡山の場合90点のところもあれば70点のところもあると、70点以下のところはあまりないと云うように、比較的良い点数が取れているんじゃないかと私は思うんです。」

神野 「現在愛知のものは殆ど大阪へ入ってないように聞いているんですが、愛知ものを除いてですね、他の県あたりから比べてですね、岡山の今の品質のレベルというものは劣っているものかそれとも他府県並み、もしくはそれよりは少しレベルが高いんだというようなところは伺えませんでしょうか。」

村上 「そうですね、特にそういうところ、長所短所を探し出すとすれば、岡山の卵は比較的、戦前からですが、飼料の関係で黄味の色が良いとか、濃度がよいとか云う一つの批評はたしかにあって信用されているわけなんです。だから品質自体については、岡山は他府県に比べていささか上じゃないかと一応考えることもできるわけなんです。」

神野 「卵の黄味なんか非常に良いというわけなんです。岡山の卵に対するですね、苦情というようなものはどういう点が多いわけでしょうか。」

まあ、色々事情はあると思うんでございますが。一番多く村上さんあたりがお耳にされることはどういう点でしょうか。」

村上 「単刀直入に申し上げたら、農協関係とか或いは、特殊養鶏団体とか、或いは業者、そういったところの競争のはげしい地盤のところほど、こんなことを申し上げたら非常に僭越ですけども、生産者を増長させておると、そのため比較的手入れの悪い汚い卵を出しており農協の方がやかましく言えば、それでは業者の人に、あの人だったら別に汚れていてもあまり何も云わないと、いつまでも値段も負けんように買ってくれると云う、そういったことが非常に生産者に対して悪い影響を及ぼすんじゃないかなというように反面考えられるわけなんです。」

神野 「どうも長い間色々ありがとうございました。今後ともよろしく御指導をお願いいたします。」

村上 「いやいや、何か取りとめもないことではございましたけれども・・・
どうもありがとうございました。」